

# 介護職員初任者研修講師要件チェック表

(平成27年4月1日以降開講される研修講師)

			資格								備 考	
			1 教授等	2 専任教員等	3 介護福祉士	4 社会福祉士	5 医師	6 看護師等	7 理学療法士等 シヨン業務	8 行政職員		
必要実務経験			義務する 研修科目に 講義	義務する 研修科目に 講義	介護業務	相談援助業務	医師業務	看護業務	リハビリ 業務	研修科目に 関	要領P.6参照	
責任者	要件		○＝実務経験3年以上(資格取得後) ◇＝実務経験1年以上(資格取得後)									
	課程編成責任者		◇	○	○						実習責任者と兼務可	
	実習責任者		◇	○	○						実習指導責任者と兼務不可	
	実習指導責任者		◇	○	○						実習責任者と兼務不可	
講義・演習・実習	講師要件		○＝実務経験3年以上(資格取得後) ◇＝実務経験1年以上(資格取得後) ★現職又は離職後3年以内の者が望ましい ※1:福祉サービス業務担当者 ※2:権利擁護業務担当者									
	1	職務の理解	1.多様なサービスの理解	◇	○	○	○				○※1	
			2.介護職の仕事内容や働く現場の理解	◇	○	○	○				○※1	
	2	介護における尊厳の保持・自立支援	1.人権と尊厳を支える介護	◇	○	○					○※2	
			2.自立に向けた介護	◇	○	○					○※2	
	3	介護の基本	1.介護職の役割、専門性と他職種との連携	◇	○	○						
			2.介護職の職業倫理	◇	○	○						
			3.介護における安全の確保とリスクマネジメント	◇	○	○						
			4.介護職の安全	◇	○	○						
	4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	1.介護保険制度	◇	○	○	○				○	
			2.医療との連携とリハビリテーション	◇	○	○		◇	○	○		
			3.障害者自立支援制度及びその他制度	◇	○	○	○				○	
	5	介護におけるコミュニケーション技術	1.介護におけるコミュニケーション	◇	○	○						
			2.介護におけるチームのコミュニケーション	◇	○	○						
	6	老化の理解	1.老化に伴うこととからだの変化と日常	◇	○	○		◇	○			
			2.高齢者と健康	◇	○	○		◇	○			
	7	認知症の理解	1.認知症を取り巻く状況	◇	○	○						
			2.医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	◇	○			◇	○			
			3.認知症に伴うこととからだの変化と日常生活	◇	○	○						
			4.家族への支援	◇	○	○						
	8	障害の理解	1.障害の基礎的理解	◇	○	○						
			2.障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的理解	◇	○			◇	○			
			3.家族の心理、かかわり支援の理解	◇	○	○						
	9	こととからだのしくみと生活支援技術 ＜Ⅰ.基本知識の学習＞	1.介護の基本的な考え方	◇	○	○	○					
			2.介護に関することのしくみの基礎的理解	◇	○	○	○					
			3.介護に関することのからだのしくみの基礎的理解	◇	○	○	○					
		＜Ⅱ.生活支援技術の学習＞	4.生活と家事	◇	○	○	○					
			5.快適な居住環境整備と介護	◇	○	○	○				○	
			6.整容に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護	◇	○	○	○					
			7.移動・移乗に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護	◇	○	○	○				○	
			8.食事に関連したこととからだの仕組みと自立に向けた介護	◇	○	○	○					
			9.入浴、清潔保持に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護	◇	○	○	○					
			10.排泄に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護	◇	○	○	○					
			11.睡眠に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護	◇	○	○	○					
			12.死にゆく人に関したこととからだのしくみと終末期介護	◇	○	○	○					
		＜Ⅲ.生活支援技術演習＞	13.介護過程の基礎知識	◇	○	○	○					
			14.総合生活支援技術演習	◇	○	○	○					
	科目試験(筆記・口答)		筆記・口答	◇	○	○	○					
	科目試験(実技)		実技	◇	○	○	○					
10	振り返り	1.振り返り	◇	○	○	○						
		2.就業への備えと研修終了後における継続的な研修	◇	○	○	○						
修了試験		筆記	◇	○	○	○	◇	○	○	○		

- 実務経験年数等について
- ◆講師・実習指導責任者等要件確認書において、要件に関する勤務期間の始期～終期までを計算する。  
 (日)のうちかたまりしないものについては始期の翌月～終期の前月、H20年4月～H24年4月 ⇒ H20/5/1～H22/3/31 ⇒ 3年11ヶ月
  - ◆「月」が「現在」とあるものは、H20年4月～現在 ⇒ H20/5/1～申請日の前月(末日であれば当月も含む)
  - ◆当該研修開始日までに要件を満たしていること
  - ◆以上の計算をもとに年数を確認し、「年数等欄」に「〇年〇か月」又は「〇年以上」と記載する。